

— 南総地区の人口 —
 人口 20,672人
 男 10,421人
 女 10,251人
 世帯数 10,145世帯
 令和5年5月1日現在



編集
 南総地区社協広報委員会
 発行責任者
 会長 児井 敏雄
 事務局
 南部エリア推進センター内
 電話 92-1481

第2次南総地区行動計画始まる!!



☞地区社協の情報については
 こちらをご覧ください。

令和5年度の計画と予算が評議員会で承認されました。
 2年任期の理事、および担当役員理事の皆様も刷新され、新しい体制でスタートいたしました。どうぞよろしくお願いたします。

さて、牧野富太郎博士の伝記に基づく連続テレビ小説が話題になっております。人類の遙か昔から生存し続けている植物たちは、私たち動物のエネルギーの基を作り出しております。植物と動物たちの命の循環にもっと目を向け、散歩の折々などに気を付けていきたいものです。きっと力強く生きている植物たちから学べることも多いと思います。

私どもを取り巻く環境は南総地区でも高齢者比率が45%を上回っており、また、後期高齢者は21%を超えています。

南総地区社協ではますます比率が増えてくる高齢者の方々のみならず、すべての方々が安心して安全で幸せな日々を過ごせるよう努力して参ります。

今年度から始まる第2次行動計画（令和5年度～8年度）で各施策を実施して参ります。詳細はダイジェスト版として各戸配付いたしますので、是非ご覧いただき、皆で福祉のまちづくりに取組んでいきたいと考えております。
 （会長 児井 敏雄）



ひまわりクラブの活動（なのはな館）

令和5年度 重点的な取組

- **共生型サロンの実施**
 ☞住民が誰でも集い、交流できる場づくりを進めます。

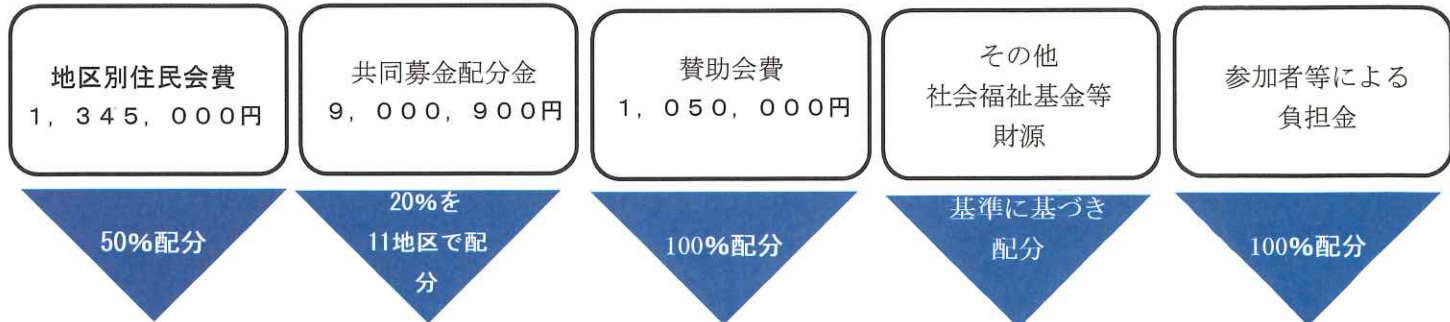


- **日常生活支援活動の展開**
 ☞日常のちょっとした困りごとを解決するための仕組みをつくります。

令和5年度予算 総額：3,440,000円

収入の概要

地域の皆様にご協力いただいている財源



I. 交付金 1,774,900円 (内訳) ①運営費補助金(基本事業費) 1,157,500円 ② " (運営費) 99,400円 ③ " (加算分) 280,000円 ④特別交付金 190,000円 ⑤事務局拠点維持費 48,000円	II. 賛助会費 1,050,000円 III. 負担金 36,500円 IV. その他(繰越金等) 578,600円
--	--

支出の概要

I. 事業費 計 2,271,000円

<p>★共生型サロン事業 880,000円 ◎地域の誰でも参加できるサロンとなります。ご協力をお願いします。 ・ふれあいいきいきサロン(地区社協・小域福祉ネットワーク) ・のびのびキッズ(子育て)</p> <p>★日常生活支援事業 100,000円 ◎住民参加型在宅福祉サービスの拡充を目指します。</p> <p>★子どもの居場所づくり事業 10,000円</p> <p>その他の事業 986,000円 ・災害支援ボランティア事業(年2回) ・小域福祉ネットワーク連絡会議(年2回) ・高齢者支え合い事業(第2層協議体の運営) ・地域福祉支援事業</p>	<p>福祉バザー事業 130,000円 ◎11月19日(日) 南総公民館</p> <p>相談支援事業 35,000円 ◎毎週土曜日13時~15時 なのはな館相談室</p> <p>広報事業 160,000円 ◎広報紙「ふれあい」年2回発行(6、12月)</p> <p>・人材育成事業 ・地域福祉講座 ・地域ふれあい会食会</p>
---	---

★は新規の取組み

II. 協力団体への活動助成金 561,000円

III. 事務費・管理費等 608,000円



トピックス



牛久地区 『シルバー西国吉通いの場』



タオルを使った健康体操

西国吉の通いの場「シルバー西国吉通いの場」では、令和2年6月から地道な活動を行っています。

令和4年10月23日、牛久小学校区小域福祉ネットワーク高齢者部会主催による茶話会が開催され、通いの場の会員を始めとする地域の高齢者が多数参加し、地域リハビリテーションによる「イキイキ広域タオル体操」を体験しました。

その際使用したタオルの提供を受けたことから、西国吉自治会館で行う「通いの場」でも、タオルを使った健康体操を皆で声を掛け合い月2回取り組んでおります。
(編集委員)

鶴舞地区 『ふれあい茶話会』

鶴舞大蔵屋団地では第三日曜日に独居高齢者を招待して、「ふれあい茶話会」を開催しています。安心訪問員、民生委員やボランティアの女性が協力して受付、コロナ対策、会場設営と飲食の準備を行い、地域の方々による楽器演奏、踊り、手品等を楽しんでいます。

4月23日には「総の音（ふさのね）」の二胡演奏会が行われて、懐かしい歌の演奏や二胡の構造、グループの成り立ち、苦労話をお聞きして有意義な時間を楽しみました。

珍しい楽器の二胡は、弓が馬のしっぽ、胴の皮はニシキヘビのしっぽの皮で出来ていて、15年で劣化するとの事、価格は30万円～100万円するそうで、興味深く話をお聞きしました。

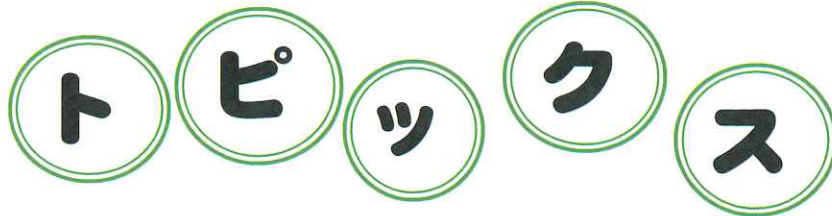
誕生日を迎えた方の紹介と感想を話していただいたり、書道等の趣味のお誘いや、仲間同士の懇談で近況や健康の話をしったりして楽しい時間を過ごしました。
(編集委員)



二胡の演奏

新理事（令和5年度～6年度） 南総地区社会福祉協議会

役職	氏名	選出区分（協力団体）
会長	兒井 敏雄	福祉活動実践者
副会長（総務）	岩地 光平	〃
副会長（第1事業）	鈴木 みち	民生委員児童委員協議会
副会長（第2事業）	御簾納 正一	〃
役員（総務・会計）	根本 忍	小域福祉ネットワーク
役員（総務・会計）	鈴木 良和	福祉活動実践者
役員（第1事業）	古滝 伸子	小域福祉ネットワーク
役員（第2事業）	中川 正孝	福祉活動実践者
理事（総務）	常泉 和男	老人クラブ
理事（第1事業）	長谷川 光子	子育て家庭支援員協議会
〃	鶴岡 よし江	更生保護女性会
〃	森 由美子	福祉活動実践者
〃	加藤 功	〃
理事（第2事業）	小柳 英壽	南総地区町会長会
〃	関 孝	〃
〃	古池 隆彦	福祉活動実践者



平三地区

『平三窯と陶芸サークル』

★ 陶芸の学校として



平三窯

今から19年前、平成16年平三小学校に当時の校長先生が『児童達に夢を！』と、陶芸窯(本格的なガス窯)を設置されました。指導者として、和光大学美術講師の木寺啓幸氏と陶芸家の原地宏幸氏が当たることとなりました。

翌年の平成17年から全校児童を対象に陶芸の授業が始まり、平成21年には家族ふれあい陶芸教室、23年にはファミリー陶芸教室など地域ぐるみの取り組みが始まりました。児童の作品は毎年ギャラリーで発表会を開催し、卒業生は記念に陶板手形を制作し体育館入口通路の壁に張り付ける等、陶芸の学校として有名になりました。

平成28年3月、児童数も減りやむなく平三小学校は閉校となりましたが、鶴舞小学校に統合され、現在も高学年を対象に毎年陶芸活動を行っています。

★ 陶芸サークルの誕生

平成18年、学校関係者や平三町会の深いご理解と協力を頂戴し地域の大人を中心とした陶芸サークルが誕生しました。年間を通して創作活動を続け、毎年市内の画廊でグループ展を開催する中で、最近「集い広場へいさん」の里山市に作品を展示し、安価で即売も行っていきます。

★ 大歓迎・貴方も陶芸を

陶芸サークルは、毎週日曜日を活動日とし作陶に励んでいます。作品は日常雑器からオブジェまで作風は自由です。貴方も世界に一つしかない自作の食器でお茶やコーヒー・お酒や料理を楽しんでみませんか!! 皆さまの見学をお待ちしています。

入会ご希望の方は、ご一報ください。

【連絡先 会長 稲葉光雄 電話0436-89-2051】

(原地 宏幸)



里山市での販売

編集後記

この春、新型コロナウイルスの感染症法の分類が、危険度の高い2類から季節性インフルエンザ等が規定される5類に移行しました。新型コロナウイルスの感染者が、初めて確認されてからの3年余りは、社会や学校生活活動での制約が発生しました。今回ある部分緩和されましたが、制約が無くなる訳ではありません。

マスクの着用は個人の判断が基本となりますが、「混雑した電車やバスの乗車」「医療機関での受診時」等、まだまだ着用を勧められています。

お互い気をつけながら、ますます元気に頑張りましょう。

編集委員

河津 敏郎 (内田)

加藤 功 (牛久)

大井 守 (鶴舞)

金高 義幸 (平三)

牧野 雅夫 (戸田)